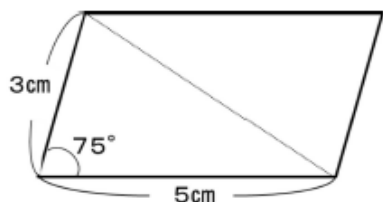


小5年 解答とポイント

合同な図形		形も大きさも同じ図形を調べよう			
学年		組		名前	

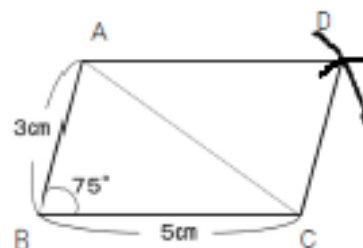
1 下の図と合同な平行四辺形を、本当の大きさでかきましょう。



☆合同な三角形のかき方を
生かしてかきましょう。
☆この図は本当の大きさとは
ちがいます。

(例)

- ① 底辺になる5cmの直線を引く。
- ② 分度器で75°を測り、3cmの辺を引く。
- ③ 平行四辺形の対角線になる直線を引き、三角形をかく。
(三角形ABC)
※合同条件「2つの辺とその間の角が等しい」
- ④ コンパスで、点Aを中心として、半径5cm(BCの長さ)の円の一部をかく。
- ⑤ 同様に点Cを中心とし、半径3cm(ABの長さ)の円の一部をかく。
- ⑥ 交わった点をDとして、平行四辺形ABCDをかく。



2 ヒントを手がかりにして、合同な平行四辺形をかきましょう。

ヒント①：底辺の長さは6cm

ヒント②：もう一方の辺の長さは5.5cm

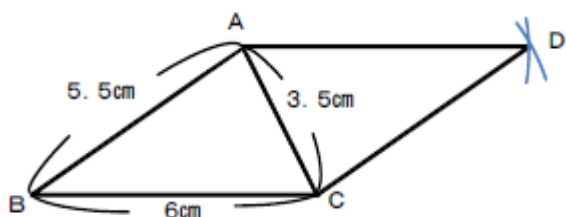
ヒント③：対角線の長さは3.5cm

角度はわからないんだね。でも、
平行四辺形は合同な三角形を合わせた形だから・・・



(例)

- ① 底辺になる6cmの直線を引き、2つの頂点を決める。
- ② それぞれの点から、5.5cmと3.5cmを半径とする円の一部をかく。
- ③ 交わった点をもうひとつの点として三角形をかく。(三角形ABC)
※ 合同条件「3辺の長さが等しい」
- ④ 点Aから6cm、点Cから5.5cmを半径とした円の一部をかき、交わった点をDとして平行四辺形をかく。
※ 平行四辺形は、傾きが逆になる場合もあります。



【ポイント】

- ・三角形をかいてから、コンパスをつかって4つ目の頂点を決め、平行四辺形をかくことができる。